学校番号	１０１

令和８年度　看護医療科

教科	看護医療	科目	(学) 看護数学Ⅱ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	教科書なし						
副教材等	看護学生スタートアップトレーニング（メディカ出版） リンク数学演習Ⅰ・A　受験編　a＋b（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

看護医療系専門学校・短期大学・大学への進学見据えた受験過去問題を含む演習問題や看護医療系に関する一般教養の課題に取り組みます。答えを眺めてわかったつもりになっていても，実際に問題を解くと解けないこと（書けないこと）がよくあります。学習をするときには，必ずノートにきちんと計算したり図を描いたりしながら解いていくようにしてほしいです。そうすることで，自分自身が本当に理解できているかどうかを確認することができ，自分の力を伸ばしていくことにつながっていきます。

2　学習の到達目標

(1) 数学Ⅰ・数学Aの範囲についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2) 命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，様々な問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学Ⅰ・数学Aの学習内容における基本的な概念，原理・法則，用語・記号などを理解し，基礎的な知識を身につけている。	数学Ⅰ・数学Aの学習内容における数学的な見方や考え方を身につけ，事象を数学的にとらえ，論理的に考えるとともに，思考の過程を表現し振り返り多面的・発展的に考えている。	数学Ⅰ・数学Aの学習内容における考え方に関心を持つと共に 数学的な見方や考え方のよさを認識し，それらを事象の考察に活用しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，看護医療現場でどのように活用することができるのかを考える。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	数学Ⅰ	二次関数	a：２次関数の最大値・最小２次方程式の解と２次関数のグラフとの関係について理解している。2次不等式の解と２次関数のグラフとの関係について理解し，グラフを用いて２次不等式の解を求めることができる。 b：・日常の事象について，２次関数の最大値・最小値を利用して考察できる。２次不等式を解く際に，簡単に因数分解できない２次式について，2次方程式の解の公式を利用して考察できる。 c：２次関数の値の変化や判別式に関心をもち，具体的な事象の考察に２次関数の最大・最小を活用しようとしている。学んだ内容への関心・興味を深め，課題・レポート・振り返りシートを作成し、提出する。	定期考査 レポート	定期考査 レポート 提出ノート	提出ノート 発表 ワークの取り組み 振り返りシート

	数学ＩＡ・	図形と計量 場合の数	a：集合の要素の個数についての関係式を用いて，集合の要素の個数を求めることができる。順列，組合せ，確率についての概念，法則，定理，用語・記号などを理解している。サイン，コサイン，タンジェントの意味を理解し，三角比の相互関係や図形に関する内容について理解できる。 b：集合の考え方を用いて，事象を単純化したり，事象間の関係について考察できる。場合の数を樹形図や表などを利用し的確に処理することができる。 日常の事象について，正弦定理や余弦定理を利用して高さや距離が求められることを考察できる。 c：学んだ内容への関心・興味を深め，課題・レポート・振り返りシートを提出する。	定期考査 レポート	定期考査 レポート 提出ノート	提出ノート 発表 ワークの取り組み 振り返りシート
2	数学Ａ	確率	a：確率の基本的な法則を用いて，事象の確率を処理することができる。集合の考えを用いて，和事象，排反事象および余事象の確率を処理することができる。独立な試行の確率，反復試行の確率や条件つき確率の意味を理解している。 b：順列，組合せおよび集合の考えを利用して，いろいろな事象の確率を調べることができる。独立な試行の確率，反復試行の確率，条件つき確率を適切に処理することができる。 c：率の基本的な性質を考察するのに集合の考えを利用しようとしている。独立な試行とその確率，反復試行の確率，条件つき確率，期待値について関心をもち，それらを活用しようとしている。学んだ内容への関心・興味を深め，課題・レポート・振り返りシートを作成し、提出する。	定期考査 レポート	定期考査 レポート 提出ノート	提出ノート 発表 ワークの取り組み 振り返りシート

	数学A	図形の性質	a: 内角，外角の二等分線と辺の比の関係を理解している。円周角の定理や方べきの定理などの性質について，基本的な概念，定理や用語・記号などを理解している。円の接線と接点を通る弦とのなす角の性質について理解している。 b: メネラウスの定理やチェバの定理の性質を論理的に考察し処理することができる。円周角の定理とその逆を用いて論理的に考察し，処理することができる。円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接するための条件を用いて論理的に考察し，処理することができる。 c:図形の諸所の性質に関心をもち，図形を多面的にとらえようとしている。学んだ内容への関心・興味を深め，課題・レポート・振り返りシートを作成し、提出する。	定期考査 小テスト レポート	定期考査 小テスト レポート 提出ノート	提出ノート 発表 ワークの取り組み 振り返りシート
3	数学ⅠA	総合問題	a: 既習分野において、定理や解法など、入試問題れ別における基本的 な考え方や重要事項が身についている。 b: 入試頻出問題の解法を自ら導き出せるようになる。 c: 学んだ内容への関心・興味を深め，課題・レポート・振り返りシートを作成し、提出する。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度